

# 種子屋久通信

発行：熊毛地域青少年育成推進協議会

住所：西之表市西之表 7590 番地

(熊毛支庁総務企画課内)

TEL：0997-22-0498

FAX：0997-23-1161

令和5年度《家庭の日》作品コンクール『入賞おめでとうございます』



令和5年度 鹿児島県「家庭の日」絵画・ポスター・標語の作品応募には、県内646校の小・中学校から絵画の部に1,962点、ポスターの部に240点、標語の部に18,009点の応募があり、審査の結果、熊毛地域からは8名(6校)の児童生徒が入賞しましたのでご紹介します。



## 【絵画の部・中学校】

優秀賞

《夏の思い出》



中種子町立中種子中学校 2年 やました山下 しほり詩穂里



## 【絵画の部・小(高学年)】

優良賞

《家族でヤートセー踊り》



中種子町立星原小学校  
5年 とくなが徳永 あみ絢心



## 【絵画の部・中学校】

優良賞

《夏の休日》



中種子町立中種子中学校  
2年 ひらはた平畠 ゆづき悠月



## 【絵画の部・小(中学年)】

努力賞

《いっばいつれたぞ 魚つり》



西之表市立伊関小学校 3年 はまわき濱脇 おういちろう央一郎

**優秀賞 【標語の部・小(低学年)】**

西之表市立伊関小学校 1年 梁 慧揮

ねるまえに  
かぞくみんなで  
いいことはっぴょう

**優良賞 【標語の部・小(中学年)】**

屋久島町立宮浦小学校 4年 岩川 林檎

かるた取り  
いよいよ姉に  
勝てそうだ

**努力賞 【標語の部・小(低学年)】**

屋久島町立小瀬田小学校 2年 濱島 聖太郎

朝おきて  
みんなのおふとん  
たたむぼく

**努力賞 【標語の部・小(高学年)】**

中種子町立増田小学校 6年 南 実央

回るそうめん  
家族で取り合う  
暑い夏

応募いただいた児童・生徒のみなさん、指導していただいた先生方、家族の方々、関係者の方に感謝申し上げます。なお、入賞作品につきましては、下記のとおり展示予定です。★ぜひご覧ください

記

展示会場	期間	展示内容
プラッセだいわ種子島店	令和6年1月31日(水)～2月12日(月)	優良賞以上及び熊毛地域の努力賞
県立奄美図書館 奄美パーク 奄美市学びフェスタ	令和6年2月23日(金)～2月29日(木) 令和6年3月2日(土)～3月7日(木) 令和6年3月10日(日)	優良賞以上及び大島地域の努力賞
県青少年会館	令和6年3月20日(水)～6月6日(木)	優良賞以上及び鹿児島地域の努力賞

※入賞作品は鹿児島県青少年育成県民会議ホームページでも公開しています。

～ 郷土に学び・育む青少年運動 ～

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」

【地域ぐるみで青少年育成】地域活動、美化活動、ボランティア活動に参加しましょう

毎月第3日曜日は「家庭の日」

【家族のふれあいの促進】家庭や地域でのルールについて話し合しましょう

毎月19日は「育児の日」

【家庭・地域・職場で子育て応援】家事などみんなで助けあって過ごしましょう



☆ご紹介☆

西之表市立安納小学校を訪問した際、こんなかわいいキャラクターが出迎えてくれました。



名前  
あいもん・幸子

ホームページ  
はカラーだよ

プロフィール

性別：高級安納芋

職業：安納小の盛り上げ係

趣味：安納芋・マリーゴールドをひとにあげる

特技：あいみよんのマリーゴールドを歌う  
♪♪♪

# 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組紹介

(報告書から抜粋)

## 【西之表市立国上小学校】

☆事業名：稲刈り体験活動 ☆実施時期：令和5年7月1日～8月31日

☆目的：・4月に田植えを行い、8月に成長した稲の刈り取り作業を実施した。PTA事業部を中心とした保護者に刈り取り、束ごとに藁で結ぶ、掛け干の作業を教えてもらいながら収穫作業を行った。

・前年度の2月に種まき、発芽から稲が成長するまでの温度管理と水まき、4月の学校田への田植え、8月の稲刈りと脱穀、12月の餅つき大会と年間を通して稲作に関連した活動を行っている。

・異学年縦割り班で作業を行い、上級生が下級生に声をかけながら作業を行い、異学年間の交流の機会となった。

・作物を育てて食べる大変さや収穫の喜びを感じることをねらいとし、本校児童と保護者との食育活動を通してのふれあい体験活動にもなっている。

☆参加者：国上小学校全児童36名・国上小学校教職員10名・国上小学校PTA（23戸）



稲、手刈り作業



作業終了後皆で写真撮影



稲、掛け干し作業

PTA事業部を中心に、児童への指導を行い、稲刈りと掛け干の作業を行った。初めて稲刈りをする児童もあり、充実した収穫体験活動となった。



## 【西之表市立上西小学校】

☆事業名：第54回鉄砲祭り太鼓山行列（子供神輿パレードに参加） ☆実施時期：令和5年8月20日

☆目的：地域の伝統行事への参加を通じて、郷土を大切に思う心情を育むこと。

神輿制作やパレード参加を通じて、子供会（小学生と中学生）の絆を深めるとともに、保護者間の親睦を図ること。

☆参加者：児童20名・保護者19名・職員2名・中学生5名 計46名



商店街を元気にパレード



ゴール後の写真撮影

☆ **【西之表市】地域塾：ふるさとまなび～隊 「昔あそび」**

10月28日（土）、令和5年度第4回「ふるさとまなび～隊」活動を実施しました。

市内児童31名が参加し、竹鉄砲作りや昔あそび体験をしました。

竹鉄砲作りでは、のこぎりを使って竹を切るなど慣れない作業に苦戦しながらも、「ポンッ!!」と良い音を立てて遊ぶ光景が見られました。



その後は、グループごとに6種類（こま、お手玉、ぶんぶんごま、おはじき、輪回し、竹とんぼ）の昔あそびを順番に回り、様々な体験活動を行うことができました。

☆ **【西之表市】地域塾：安城カシミアクラブ「カシミアダンスワークショップ」**

今年度、種子島しおさい留学で安城に来られた御家族のお父さんが「ダンス・表現」の分野に精通されており、その縁を生かして8月30日にダンスワークショップを実施することができました。

ポイントは「身体表現を通じたコミュニケーション」です。参加者が目と目を合わせながら全身を大きく動かしていくことで、次第に形作られていく創作ダンス。



子供たちは、言葉を交わさなくても心が通じ合っていくことを実感することができたようです。表現活動を通して、他者理解や自己理解を深めることができた貴重な機会となりました。



☆ **【中種子町】坂井育青会：十五夜祭**

9月29日に、坂井育青会主催の十五夜祭が南界校区本村公民館で行われました。

中秋の名月が照らす中、子ども達による踊りの披露やお楽しみ抽選会などでにぎわいました。締めくくりは、80発の花火が打ち上げられ今年最後の花火を目に焼き付けるように、見上げていました。



☆ **【南種子町】 町の取組：宇宙サイエンス LAB ツアー開催**

9月15日(金)～18日(月)の4日間、南種子町自然の家や種子島宇宙センターにおいて、宇宙サイエンス LAB ツアーが開催されました。

全国の小・中学生34人が参加したこのツアーは、大学生や研究者と同じ教材とカリキュラムで、本物のサイエンスを学ぶ



内容となっており、ドローンの飛行実験や宇宙探査ロボット作りなどについて学びました。

最終日には、南種子町長や種子島宇宙センター所長らを前に、代表者5人がプレゼンテーションを行い、4日間での学びを発表しました。



☆ **【南種子町】 町の取組：南種子町おはなし子ども会**

「2023年度 第53回野間読書推進賞」団体の部受賞



(公社)読書推進運動協議会が実施する第53回野間読書推進賞において、南種子町おはなし子ども会が団体の部を受賞しました。

1994年に発足し、「地域の子どもたちがより豊かな想像力を持つこと、健やかに成長すること」を願って、例年15人程のメンバーで現在まで活動を続けています。

主な活動は、毎月1回の「おはなしの時間」や学校等へ出向いて読み聞かせを行う「おはなし宅配便」、

町生涯学習講座の1つとして行う「親子読書講座」などです。転勤・移住世帯が多い町において、おはなし子ども会の活動がコミュニティへの入口ともなっており、子ども・学校・地域を読書運動でつなく存在として、今後益々の活躍が期待されています。

☆ **【屋久島町】 町の取組：5年ぶりの菊陽町訪問**

8月16日から19日の3泊4日で、屋久島町子ども会の小・中学生20名が、本町と姉妹都市の熊本県菊陽町を訪問しました。台風や感染症の影響で5年ぶりとなった菊陽町との交流でしたが、熊本城や菊陽町の史跡である鼻ぐり井手の見学、菊陽町の子ども達との交流活動など、有意義な子どもの旅となりました。この経験を今後の子ども会活動等で生かしてほしいと思います。



## 令和5年度「熊毛地域青少年育成指導者研修会」開催

12月6日（水）に熊毛支庁第1会議室において、鹿児島県及び鹿児島県青少年育成県民会議主催の「熊毛地域青少年育成指導者研修会」が開催され、青少年育成コーディネーター、青少年育成推進員、青少年関係団体指導者、市町村青少年担当課職員、青少年育成アドバイザー、青少年育成指導員等18名が参加しました。



意見発表中

当日は3グループに分かれて【少子化に伴う育成活動の進め方について】、

【子どもたちの行動の変化に伴う、活動の進め方について】、【指導者の人材確保・育成について】のテーマに添って、現状や問題点等について、一人ずつ意見を発表し、その中から課題・解決策等の話し合いを行った後、グループで討議した内容の発表がありました。参加者は休憩を忘れるほど話が盛り上がり、互いの地域の取組の良い点や取り入れたいこと等を意見交換することで、今後につながる研修会になりました。



県民会議事務局長あいさつ中



グループ討議中



子どもを虐待から守るのに、理由はいらぬ。

＼情報提供や相談を!!／ いちはやく

まずは連絡 **189**

匿名可能

通話無料

秘密厳守

みんなで知ろう、児童虐待の現状

児童虐待は社会全体でかわり、解決していく問題です。

児童虐待による死亡事例は年間70件を超えています。

単純計算すると、5日間に1人の子どもが命を落としていることとなります。



子ども虐待防止 🔍

子どもを守る、社会をめざして。

子どもまんなか  
子ども家庭庁

※子ども家庭庁チラシより抜粋